2026 年期　第 4 回課題研究テーマ（東京実務補習所）

53 班～68 班

テーマ	あなたは、ある会社の財務諸表監査を新たに受嘱し、初年度監査を担当する監査チームの主査となった。 当該会社について、監査チームには過年度の監査調書の蓄積がなく、会社の事業、業務プロセス、情報システム、内部統制及び会計処理に関する理解は限定的である。また、前任監査人が存在するものの、監査チームが利用できる情報には一定の制約がある。 このような初年度監査において、以下の事項について論述しなさい。 ① 監査計画を立案するために、監査人は会社及びその環境、適用される財務報告の枠組み並びに内部統制について、どのような情報を収集し、理解すべきか。 ② 上記の理解を踏まえ、重要な虚偽表示リスクをどのように識別・評価し、当該リスクに対応する監査手続をどのように設計すべきか。 ③ 初年度監査を適切かつ円滑に進めるために、主査として監査チーム内及び会社との間で、どのようなコミュニケーション及び進捗管理を行うべきか。 なお、論述に当たっては、合理的な範囲で会社の業種、規模、事業内容及び監査上の主要な論点を設定してよい。ただし、実在する企業名、非公開情報その他企業を特定できる情報は記載しないこと。